



無傷の4連勝でタイトル奪取

2018年の2歳王者決定戦で人気を集めたのは、3頭の無敗馬だった。

新馬戦、中京2歳ステークス、GIIデイリー杯2歳ステークスと3連勝中のダイワメジャー産駒アドマイヤマーズ。同じくデビューから3連勝でここに臨むロードカナロア産駒ファンタジスト。しかし、これらを差し置いて1番人気に推されたのは紅一点、ディープインパクトを父に持つ2戦2勝の牝馬グランアレグリアだった。

新馬戦、GIIIサウジアラビアロイヤルカップと、すでに牡馬を相手に勝利しているグランアレグリア。新馬戦で2着に下したダノンファンタジーは、この前週の阪神ジュベナイルフィリーズを鮮やかに差し切って2歳女王に輝いたばかりで、そんな印象の強さも手伝ってか、単勝オッズは1.5倍と圧倒的な支持を集めていた。

しかしレースでは、牡馬の意地を見せつけられる格好となった。

好スタートを決めたグランアレグリアは、イツクールの2番手でレースを進める。やや離れた3番手にアドマイヤマーズ。ファンタジストも6番手あたりと比較的、前にポジションを取った。

最初に動いたのはアドマイヤマーズだった。4コーナーから仕掛け、直線入り口で早くもグランアレグリアに並びかけていく。「ペースが落ち着いたので、瞬発力勝負になるのが嫌だった」とミルコ・デムーロ騎手。グランアレグリアもイツクールを交わすが、すぐ外に並んだアドマイヤマーズの圧力に怯んだかのように内ラチ沿いへ。馬体を少し離しての競り合いは、残り200mを過ぎて力尽きたグランアレグリアをアドマイヤマーズが力強く突き放して決着した。

グランアレグリアは、直後からじわじわ末脚を伸ばしたクリノガウディーにも交わされて3着。クリストフ・ルメール騎手は「これまで圧勝ばかりで、競り合いが初めてだったからか、反応が良くなかった」と経験不足を敗因に挙げた。

アドマイヤマーズは、デムーロ騎手が「僕と同じで、負けたくない気持ちが強い馬」と評したように、競り合いの強さを武器に、デビュー4連勝で2歳王者の座に就いた。またデムーロ騎手は、2010年のグランプリボスを皮切りに、このレースは9年間で4勝目。抜群の相性の良さを示す一戦となった。

▶1番人気は譲ったが、強い競馬で結果を出したアドマイヤマーズ。



▲3番手のアドマイヤマーズ(帽色・青)は早めに動いて直線へ。

第70回朝日杯フューチュリティステークス(GI)

12/16 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 小雨・良 15頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	アドマイヤマーズ	牡	2	55	M. デムーロ	友道 康夫	1:33.9	②	③③
2	クリノガウディー	牡	2	55	藤岡 佑介	藤沢 則雄	2	①	④④
3	グランアレグリア	牝	2	54	C. ルメール	藤沢 和雄	1/2	①	②②
4	ファンタジスト	牡	2	55	武 豊	梅田 智之	1 1/2	③	⑥⑥
5	ディーブダイバー	牡	2	55	川田 将雅	大久保龍志	1 1/4	⑪	④④
6	エメラルファイト	牡	2	55	W. ビュイック	相沢 郁	2 1/2	⑦	⑭⑬
7	アスターベガサス	牡	2	55	福永 祐一	中竹 和也	1 1/2	⑧	⑥⑥
8	ヒラソール	牡	2	55	岩田 康誠	加用 正	1/2	⑭	⑧⑧
9	イツクール	牡	2	55	松田 大作	武 英智	1/2	⑫	①①
10	マイネルサーパス	牡	2	55	丹内 祐次	高木 登	3/4	⑤	⑫⑬
11	コバノマーティン	牡	2	55	坂井 瑠星	村山 明	1 1/4	⑬	⑨⑫
12	ドゴール	牡	2	55	津村 明秀	黒岩 陽一	クビ	⑬	⑨⑩
13	ケイデンスコール	牡	2	55	C. デムーロ	安田 隆行	ハナ	④	⑫⑩
14	ソルトイフキ	牡	2	55	四位 洋文	木原 一良	2 1/2	⑬	⑭⑮
15	ニホンピロヘンソン	牡	2	55	浜中 俊	安達 昭夫	1 1/4	⑩	⑨⑨

単勝 ⑥460円 複勝 ⑥130円 ①490円 ②110円 枠連(1-4)10,060円
馬連①-⑥9,710円 馬単⑥-①14,240円 ワイド①-⑥1,560円 ②-⑥180円 ①-②1,080円
3連複①-②-⑥3,340円 3連単⑥-①-②45,180円

ハロンタイム 12.7-10.9-11.7-12.4-11.8-11.3-11.2-11.9
通過タイム 600m ③35.3-800m ④47.7-1000m ⑤59.5-1200m ⑥1:10.8-1400m ⑦1:22.0

優勝馬 アドマイヤマーズ

2016.3.16生 父ダイワメジャー 母ヴィアメディチ 母の父Medicean
安平・ノーザンファーム生産 馬主：近藤利一氏